

## 令和2年12月定例記者会見

### 【説明】

#### 〔生駒市アマチュア無線非常通信協力会と連携訓練を実施〕

**市長** 生駒市は初めて、生駒市アマチュア無線非常通信協力会（IAE）と災害時を想定した連携訓練を行います。生駒市にはアマチュア無線をしている方が非常に多く、以前から災害支援等の活動をされていたのですが、災害も非常に増えてきており、IAEから何か協力出来ることはないかとお話を頂きました。市の担当課とも協議し、災害時のアマチュア無線を活用した情報収集等にご協力して頂くことになり、具体的な訓練を行います。訓練は、12月27日の日曜日の午前中に、IAEのメンバーに市役所へ来て頂き、無線機等を設置して、市内一円の基地局から被害状況の報告を受け、市からも情報発信を行います。災害状況によっては、電話、メール等が使えない場合も想定されますので、そのバックアップとして、こういう訓練をします。IAEは、9月に「いこま環境フェスティバル2020」に参加して頂くなど、非常に熱心に活動されていますが、市と具体的な訓練を行うのは今回が初めてです。

#### 〔市民・事業者から市制50周年記念の催し募集〕

**市長** コロナ禍において、市民の関心が地域に向けられている折、50周年という節目に生駒市の将来をしっかりと考えて頂こうと、工夫を凝らして記念事業の取り組みをしているところです。その一環として、市民の皆さんのお力を借りして、市民自ら50周年を祝うイベント、催し等行う場合、50周年のロゴマークを活用して頂くとともに、市の様々なメディアで広報などをサポートし、応援するものです。既に、昨日も「ぴっくり通り」で行われた市民によるファッションショーにも参加されていましたが、市民の谷本さんを中心に「いこま50's」という市民の楽団をつくり、50周年を盛り上げて頂いている活動もあります。また、街歩きをされている「うるわし奈良」の皆さんが、10月3日に生駒市政50周年記念ということで、「行基さんの寺・竹林寺をたずねる」というツアーを参加費50円で実施されたりしています。できればこういう活動が50ほどあればよいと思います。

#### 〔地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット〕

**市長** 生駒市では予てから職員の副業を推奨するなど、地域へ飛び出す公務員を応援しておりますが、そういった職員を応援しようという全国の知事、市町村長が集まり、「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット」が毎年開催されています。今年度、記念すべき10回目を生駒市で開催しますが、コロナ禍のためリアルではなく、令和3年1月13日の土曜日の午後に、zoomのオンラインで開催します。内容は、開催地ということで、まず私（市長）からプレゼンテーションをし、自治体職員3人の事例発表を行います。1人は生駒市職員ですが、残りの2人は、「地方公務員が本当にすごい！と思う地方公務員アワード2020」の受賞者で、非常に面白い現場の話が聞けると思っています。その後セッションを挟み、最後に、当サミットの代表である三重県の鈴木知事を始め、10数名の首長が集まり首長によるサミットを行います。今年のテーマは地域に飛び出すとか公務員の副業等です。

#### 〔市役所で働く魅力を伝えるオンライン公務員セミナー〕

**市長** 生駒市では、例年ですと12月に、公務員セミナーを行ってきましたが、今年はコロナ禍ということで、年明けに3回オンラインで開催することになりました。令和2年1月13日と28日、2月19日に、オンラインで生駒市の概要、取組等を説明します。1回目には、「100個のコミュニティ」の話を担当職員が話します。これらのセミナーで生駒市に興味を持ってもらい、3月の説明会に参加してもらうことを想定しています。

## 【 質疑応答 】

**記者** アマチュア無線の訓練ですが、市長はどういうことを期待されますか。また、集められた情報をどうするのですか。

**市長** 災害で一番大切なことの一つは、情報収集と発信と考えています。災害時は何が起こるか分かりませんので、電話やインターネット等のいろいろなメディアを活用し、その一つが使えなくてもよいように複層的なチャンネルを持つことが大切で、無線による情報収集には、非常に期待しているところです。情報の質をどういうふうに高めていくか、入ってきた情報をどのように職員に伝達していくか、などの課題も見えてくると思います。実際の災害の時に役立てられるように訓練で高めていきたいと思っています。

**記者** 具体的にどの災害がこの訓練のきっかけとなったのですか。アマチュア無線協会と連携することは県内では初めてですか。

**危機管理監** 東日本大震災の時に通信手段が失われたことがきっかけになったということは聞いています。また、他県でアマチュア無線での自治体連携を知ったので申し出頂いたということです。県内では協定を結んでいるところはあると聞いていますが、実際の訓練は県内で初めてです。

**記者** 通常、協定を結べば訓練すると思うのですが、どうして県内他市は訓練しないのですか。

**危機管理監** 市役所に中継用アンテナを立てるために協定を結んでいるということも聞いています。

**市長** 今回に限らず生駒市では、何を行うかを明確にしてから連携協定を結ぶようにしています。今回も具体的な動きが想定出来たので協定を結ぶことになりました。

**記者** 災害の想定は豪雨災害ですか。

**危機管理監** 大規模地震災害を想定しています。災害初期に電話利用が困難になることがありますので、そういう時にアマチュア無線が活用出来ると思います。

**記者** 40局が加入ということですが、40か所に無線が置いてあるということですか。全て民間ですか。

**危機管理監** はい、そうです。実際には市内では35か所になります。

**記者** 情報は市役所に集まってくるということですか。また、どういった場面で活用されますか。

**危機管理監** 市役所にアマチュア無線の方が来て情報のやり取りをしてもらいます。災害発生の初期におけるの被害状況の収集に期待しています。又避難所への連絡が取れない時などに近くの無線局に依頼することが出来ると思います。

**記者** 電話等も使えないような災害では、無線局も危険な状況ではありませんか。

**危機管理監** 先ず無線局のある自宅の周辺の被害情報を提供してもらい、次いで安全な範囲で情報を集めに行ってくださいと考えています。火災現場等危険な場所までお願いすることはありません。

**市長** 二次災害のないように、訓練では徹底したいと思っています。災害初期における自宅周辺の大まかな被害状況も大変役立ちます。自らの安全第一に心がけ頂き、情報の収集、発信をお願いしたいと思

ます。

**記者** 35か所の無線局は自宅ということですか。市内に会員の方は何人おられますか。

**危機管理監** 通常アマチュア無線の機器がある場所ですので、自宅が多いと思います。人数は無線局と同じだと思います。

**記者** アマチュア無線を暮らしに密着した、例えば買い物支援等に活用するということがありますか。

**市長** 基本的には電話等が使えない時の補完機能を想定しています。自治会の連絡に活用している自治体もあるとは聞いており、応用は可能だとは思いますが、今後検討していきたいと思っています。

**記者** 協定はいつから結びますか。

**危機管理監** 訓練の成果を踏まえてからですが、今年度中に結べたらと考えています。

**記者** 協定を結ぶことで、補助が出ることはありますか。

**市長** 今は考えていません。活動の場所や機会などを提供することはあると思います。また、災害時に依頼する内容によっては、補助金支出の可能性もゼロではありません。

(その他質問)

なし

(了)